



正心誠意

野田佳彦首相が所信表明演説で使った言葉として話題になっています。マスコミでは、「これは、一般に知られている『誠心誠意』をもじった言葉ではなく、幕末に幕臣として活躍した勝海舟の談話を集めた『水川清話』に、政治の極意を語った言葉として収録されている。さらに、松下政経塾出身の首相にとっては師に当たる松下幸之助氏が、“上手下手より誠心誠意”という言葉を残していることもきっかけになった」と報道されています。

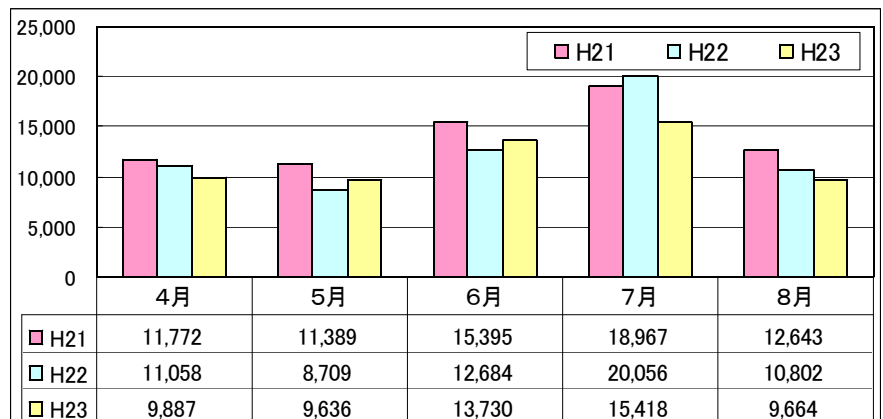
また、「国民に何でもかんでもお願いするのではなく、自分が正しいと思うことなら誠意を持って国民に尽くすという意味で、こちらがふさわしいと首相が判断した」「『意を誠にして、心を正す』という姿勢で、『国力の結集』を図っていくことが私の心からの願いだ」などの記事も紹介されています。

さらに、演説では、「将来への希望にあふれ、国民ひとりひとりが誇りを持ち、『この国に生まれて良かった』と実感できるよう・・・」「すべての国民が心を合わせて、力を合わせて、この危機に立ち向かおうではありませんか」という呼びかけもありました。

今、詫間中学校も、「あいさつの声が小さい」「交通ルールが守られていない」などの声が地域の人々から寄せられていることを踏まえると、決していい状況とは言えません。だからこそ、演説の言葉にあるように、「詫間中学校で生活してよかった」と実感できるよう、すべての生徒と先生が心を合わせて、力を合わせて、この危機に立ち向かおうではありませんか。

節電意識向上

「今、私たちにできること」として、節電を呼びかけています。そして、前年度より10%削減を目標にして取り組んでいます。4月10.6%減、5月10.6%増、6月8.2%増、7月23.2%減、8月10.5%減と、7・8月の2か月連続目標をクリアしています。9月も頑張りましょう。



詫間中学校代表

明日行われる地区中学校英語弁論・暗唱大会に、2年の渡辺彩花さんと3年の香川彩奈さんが出場します。それに先立ち、先日の全校集会でリハーサルがあり、全校生徒の前で堂々と発表してくれました。明日も学校代表として頑張ってください。



予告 「あいさつコンテスト」開幕

前号で「MUP活動」について紹介しましたが、野球部もサッカー部もまだ大きな変化は見られません。しかし、個人的には、意識して大きなあいさつをする人を見かけるようになりました。その一方で、「僕は2つの部に負けにくいくらい大きな声であいさつができます」と宣言する生徒も現れました。

そこで、これを詫間中学校全体に広げるために、どの部活が一番元気がいいかを競う「あいさつコンテスト」を開催する予定です。実施時期や方法は未定ですが、新人戦を前に、各部活の盛り上がりを見せてください。3年生も活動は終わったとはいえ、部活動の一員であることに変わりありません。